

平成18年 萩市議会3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	48	西 村 生 則	3月2日午前
2	28	林 茂 樹	
3	90	清 水 基 巨	午後
4	86	山 木 好 弘	
5	2	西 元 勇	
6	11	大 谷 泰 一	3月3日午前
7	34	丸 田 勘 次	
8	8	藤 井 郁 子	午後
9	83	近 江 郁 宣	
10	82	藤 田 克 弘	
11	37	横 山 秀 二	3月6日午前
12	1	齋 藤 眞 治	
13	17	江 原 任 子	午後
14	45	阿 部 義 美	
15	66	世 良 眞名夫	

1 6	6 1	守 永 忠 世	3月7日午前
1 7	2 7	三 浦 実	
1 8	8 9	伊 藤 勇	午後
1 9	8 7	広 兼 義 烈	
2 0	6 0	宮 内 欣 二	
2 1	1 8	木 村 靖 枝	3月8日午前
2 2	2 5	中 野 伸	
2 3	4	諸 岡 皓 二	午後
2 4	5 7	岡 武 夫	











質問順位	6	質問者	大谷泰一議員	
質問項目	質問事項及び要旨			
1. 観光振興について	1. 萩市の観光客を少しでも増加させるためには、陰陽連絡道の一つである一般国道315号を活用し、山陽側あるいは広島方面のお客を呼び込む必要があると考えるが、どのように考えておられるか。			
	2. 国道の起点は周南市で、終点は萩市須佐です。名勝須佐湾やホルンフェルス、田万川温泉等いろいろな名勝、施設があります。 萩市全体の観光客増加を図るためにも、観光案内板の設置が望まれるが、どのように考えておられるか。			
	3. 須佐地域の観光拠点には、無人の公衆トイレが設置してあります。これは、観光客に大変喜ばれています。 萩市内にも多くあるが、どこにあるか非常にわかりにくい。よそから来られた人にわかりやすく表示すべきです。 また、施設の中に入らなくても利用できる萩らしい無人トイレの設置をと提案するが、お考えをお聞きます。			
	1. 農業の構造改革で、農業の経営方法が大きく変わろうとしている。高齢化、後継者不足で新しい施策についていけない、わからないという農家の声が多く聞こえる。 農業政策に一番精通しているのは、行政職員です。農家によく説明し、地域にあった政策が実現できるようにするためには、担当課に人材を多く配置すべきと思いますが、所見をお聞きます。			
	2. 農業振興指導力のアップについて	1. 児童の通学時や下校時に、非常に凶悪な事件が全国的に多発し広域化している。 学校安全マップが、育英小から配布されました。非常にいいことです。 マップは、関係する所だけでなく、地域挙げて児童の安全を守るためにも、地域全戸に配布したらと思いますが、お考えをお聞きます。		
	3. 安全、安心な「まちづくり」について			



質問順位	8	質問者	藤井郁子議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域で暮らし続けるための条件整備の現況と課題	1. 保険・医療・福祉の分野における施策と地域間格差の是正		
	健康寿命の延長、障害者福祉、育児支援の連動と総合政策		
	国保制度の改革と安定化、医療サービスへのアクセスの保障		
	育児負担の軽減化と母親の労働環境の是正		
	居場所づくりと図書館サービスの充実		
	2. 災害危険区域・急傾斜地・生活道の整備と維持管理の制度設計		
	1. 農山漁村が果たす役割と所得の確保		
	農山漁村の女性対策と国県との連携		
2. 農山漁村の持続可能な振興策と都市部との連携	多様な職種の創出と職業の選択肢の拡大		
	観光・リゾートとの連携		
	空き家の再生で技の伝承と経済への波及効果		
	2. 地域づくりに住民自治のしくみの導入		
	3. 新市の機構の効率化とサービスの充実		
	1. 1年間の評価と問題整理		
3. 新市の機構の効率化とサービスの充実	各部各課の連携が円滑に図られ、政策に反映されたか		
	各部各課の編成や組み換えの必要性はないのか		
	各総合事務所は地域のニーズに込えているか		
	各事業と職員配置は過不足なく適切であったか		
	2. 今後の機構改革の基本方針と行程		
4. 第21回国民文化祭・やまぐち2006への取り組み	1. 国民文化祭の成功と地域振興についての具体的計画		
	全市的取り組みの企画内容と予算規模		
	各部各課との調整、全体構想		
	職員、市民ボランティア等の取り組み		
	総合プロデューサーと情宣活動の現況		

















質問順位	17	質問者	三浦実議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高齢者、障害者の外出支援策	1. 地域内の公共交通網の充実 来年度から配付されないタクシー券に替わる東部地域の外出支援策の内容を問う。		
	2. 高齢者、障害者の外出用電動カーの安全対策 利用者が増加傾向にある電動カーの、安全に通行できる環境整備が必要と考える。それには行政の対応、ならびに地域住民の理解と協力が不可欠である。その対応策を問う。		
	2. 消防防災体制の充実強化		
	1. 消防署の出張所、分遣所の体制強化 弥富出張所は夜間火災出動の際、職員全員が出動し、所内は無人の状態。その時は、けが人搬送の隊員がいない。体制強化を望む。		
	2. 消防署と地域消防団の連携強化 大規模山林火災など、署と団との中継放水が行われることがある。 無線機で行動することになるが、その無線機に互換性が無く、連携に支障をきたす。今後の改善策を問う。		
	3. 建物火災時の現在の指令体制と今後考えられる改善策 署としての指令体制は万全と思われるが、地域によっては消防団員までの指令伝達に改善が必要と思われるが、所見を問う。		
	4. 地域住民にできる初期消火活動など自主防災の推進 初期消火には、その地域の住民のパワーが不可欠。集落でのコミュニティの中で、防災意識の高揚を図り、消火栓などを使った自主的な小規模訓練などの推進も必要と思うが所見を問う。		



質問順位	19	質問者	広兼義烈議員	
質問項目	質問事項及び要旨			
1. 身体障害者等福祉行政に関する事	1. 世の中には好むと好まないとにかかわらず、弱い立場の人が存在する。できるだけ弱い立場の人を出さない方途を講じることは社会の責任であり、その立場の人が生じたときは、最大限の助力することが行政の責務と思っている。			
	障害者の実態について手帳交付者数			
	(身体障害者のほか、公表に問題がなければ保健福祉手帳、療育手帳交付者数)			
	他の自治体に比べ比率はどうか。			
	2. 障害者に対して市独自の施策(心身障害福祉手当等)が実施されているが更に充実して少しでも健常者に近づけることを検討いただきたいがどうか。			
	3. 障害者自立支援法が4月から実施される。支援法に対する批判もあるようで十分な理解が得られるよう、配慮を要望する。			
	4. 障害者ではないが高齢者という弱い立場の人が増え続けていることを再認識すべきである。			
	「寒いね」といったら、「寒いね」という返事をしてくれる人がいるあたたかさ。			
	「寒いね」といっても返事をしてくれない家庭、集落が確実に増えていることである。			
	高齢者は極端に行動範囲が狭くなる。			
	特に、山間部に住む高齢者対策を、今一度検討いただきたい。			
	2. 農業振興に関する事	1. 振興計画は策定されたことと思う。骨子について公表いただきたい。		
		2. 平成18年度は担い手(認定農業者)の育成、確保と集落営農の推進に重点をおくとの答弁があったが、国の方針に沿うものだと理解していいか。		
		3. 具体的な目標数値と推進方策について問う。		
4. 担い手あるいは集落営農で、農業を維持できない地区(規模を満たすことが困難な集落)が相当あることが予想されるが、その地区の農業振興にどのような方策を講じるのか。				
5. 農林水産省の方針を一方向的に否定するものではないが、				

	<p>条件的に不利な環境にある山間地域は国の方針を推進しがたいという現状を理解し、この地域の生活全般について、つまり住みやすい環境をどう整えるのか、今一度検討いただきたい。</p> <p>6. 振興計画の中に農業は健康を提供する産業であることを明記すべきと思うがどうか。</p> <p>7. 農業協同組合も合併を重ね小回りが利きにくくなってきたが、行政との連携は欠かせないところで連携強化を図っていただきたい。</p>
3 国勢調査に関すること	<p>1. 2005年10月1日の国勢調査は予想以上に厳しい結果となった。調査の内容については分析され、今後の行政対応をどうするのか検討に入っていると思う。そこで、国勢調査の結果をどのように受け止めているのか。</p> <p>2. 市の将来を考えると若者の定住をどう進めるかにかかっている。抽象的な表現をすれば「若者の定住条件の整備」に尽きると思う。</p> <p>0～14歳までの人口を増やすこと。そのためには15～64歳までの人口特に20歳代の人口を増やさなくてはならない。</p> <p>2000年10月1日の統計によると0～14歳、15～64歳までの年齢構成は旧萩市、旧町村ともに、市の平均、町村の平均、県の平均を下回っていることである。</p> <p>10年以内には、意地でも県平均に達してみせるという積極的な施策を全面に打ち出していきたい。</p> <p>金がない、それも分からんでもない。</p> <p>しかし、そんなことをいっていたのでは、夢を育むまちにはならないのではと心配している。</p> <p>3. 人口減少がもたらす地域への影響は大変厳しい。山間地域ほど、その影響は大きい。</p> <p>店がなくなる。食堂がなくなる。交通が不便になる。</p> <p>医療のこと、教育のこと等益々住みにくくなりつつある。食料品店は10キロも先、車が運転できないので…。</p> <p>自治体の役務の提供を等しく受ける権利を有すると自治法にあるが権利はあってもサービスを受けれなかったら、無いと同じことになる。</p> <p>その地に一人でも住んでいれば、その人のことを考えなくてはならないのが行政だと思う。</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>これ以上の人口減少は、なんとしても防がなくてはならない。</p>
	<p>4．人口定住等にかかる企業誘致、起業等に関するプロジェクトチームを発足させるということであったが、その内容について問う。</p>
	<p>民間の情報提供が、容易にできる仕組みを是非作っていただきたい。</p>
	Empty rows for the rest of the table body









